

科目名		老年看護学		単位(時間)	5単位(180時間)
担当講師名		専任教員 他		DP	1・2・3・4
科目設定理由		日本の高齢者は年々増加し、平均寿命は男女とも80歳を超えて世界トップレベルとなった。このような高齢化の進んだ日本の医療状況では、看護の対象は圧倒的に高齢者が多い現状である。老年看護学は、家族を含めた高齢者が健康を維持・回復し、その人らしくより良く生きさることを支えることにある。老年看護には、高齢者と家族一人ひとりの人生を念頭に置き、多様な健康状況や生活の場の広がりに対応できる能力が求められる。また、老年期の人々は、それまで生きてきた生活習慣や豊富な経験などが要因となり、個人差が大きい。疾病や障害を持ちながらも自己決定して日常生活が送れるよう、対象との関わりを学び、老年看護に必要な社会サポートについても学べるように科目設定をした。 老年看護学概論では、加齢に伴う身体的・心理的・社会的側面の変化の特徴や生活の視点から対象を理解し、看護につなげることを学ぶ。また、高齢者の保健・医療・福祉について理解し、老年期にある人々と家族への看護を学ぶ。 老年看護援助論Ⅰでは、老年期の主な疾患と症状に対する理解を深めるとともに、健康障害に応じた看護について学ぶ。 老年看護援助論Ⅱでは、疾患や障害を持ちながらも高齢者がその人らしく生活することができるように、その人のもてる力を大切に支援する看護展開の技術を学ぶ。			
科目構成	科目名	老年看護学概論		老年看護援助論Ⅰ	老年看護援助論Ⅱ
	単位時間	1 単位 30時間		1 単位 30時間	1単位 30時間
	履修時期	31期生 1年次後期		31期生 1年次後期	31期生 1年次後期
	学習範囲	1. 老年期の対象理解 2. 加齢に伴う機能の変化 3. 高齢者をとりまく社会 4. 老年看護における倫理的課題 5・老年看護における理論・概念 6. 療養の場の移行期における支援		1. 健康障害のある高齢者の捉え方 2. 健康障害のある高齢者の主な疾患と症状の看護	1. 老年期にある患者への看護展開の技術
	科目名	成人・老年看護学実習Ⅱ			
	単位時間	2単位 90時間			
実習のねらい	成人・老年看護学実習は、成人看護学及び老年看護学それぞれの学習を基盤にし、成人期から老年期までの患者とその家族を対象として、急性期及び慢性期の看護を学ぶ。 成人・老年看護学実習Ⅱでは、長期的な病と共に生活する患者と対象の思いを尊重しながら、もてる力を活用した生活を支える看護を学びます。 患者は身体的な症状だけでなく、心理的な不安や生活の制約、家族との関わりなど、さまざまな影響を受けながら生活しています。また、患者が持つ力も生活を支える重要な要素です。実習を通して、患者一人一人の生活背景や価値観、これまでの暮らし方に目を向け、病と向き合いながら生活する過程を理解します。 患者が自分らしく生活を続けられるよう支援するために、生活で困っていることや自分でできることに注目し、セルフケアの向上や生活の再構築を支援する方法を学びます。家族との関わりを中心に生活全体を包括的に把握する視点が重要です。 この実習を通して、患者の身体の状態だけでなく、日常生活、家族との関わり、生活環境、もてる力に注目し、患者が自分らしい生活を維持できるよう支える看護の役割を理解しましょう。				